

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

< 外国語活動、外国語 >

| 学年 | 現状分析   | 具体的な授業改善策  |
|----|--|--|
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ALT とのやり取りを楽しみながら、意欲的に活動する児童が多い。</li> <li>• 自分の考えに自信をもって発言することに課題がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 英語だけでなく、様々な言語に興味や関心をもてるよう、ALT との触れ合いから外国への興味や関心に繋げていく。</li> <li>• 発言しやすいように、ペアやグループでの学習形態の工夫・改善を図り、段階を押さえた指導をしていく。賞賛することで自信をもたせる。</li> </ul>  |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ALT とのやり取りやALT が提案するゲームを楽しみながら、意欲的に活動している。</li> <li>• 英語の歌など、全体で声を出す活動では、回数を重ね慣れてくるにつれ、積極的に参加する姿が見られる。</li> <li>• 問いに対して英語で答えることに自信がなく、発言が消極的になる児童が見られる。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 英語だけでなく、様々な言語に興味や関心をもてるよう、ALT との触れ合いから外国への興味や関心に繋げていく。</li> <li>• ペアやグループ等学習形態の工夫・改善を図ったり、自分たちの考えを伝え合うための手立てを知らせたりして、リラックスして楽しく授業に参加できるようにさせる。</li> </ul>   |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 英語の歌やゲーム、ペアでのコミュニケーションを楽しんでいる様子が見られるが、習得には差がでてきている。</li> <li>• 英語を発音することに関して自信がなく、恥ずかしさもあるせいか、小さな声になってしまったり、発言に消極的になってしまったりしている児童が見られる。</li> <li>• 英単語を正しく書く力が身に付いていない児童がいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 苦手な児童でも一緒に楽しむことができるよう、様子を見ながら日本語での説明も付け加えるようにする。</li> <li>• 机間指導を丁寧に行い、自信をもって英語を発音できるよう支援する。</li> <li>• ペアでのコミュニケーションを充実させる。</li> <li>• ワークシートに書かせたアルファベットも机間指導しながら添削するようにしていく。</li> <li>• 授業中はもちろん、授業前後にもしっかりとALT とのコミュニケーションをとる。</li> </ul> |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• チャンツに合わせて体を動かし、歌を歌う児童がいる。その一方、恥ずかしさであったり、発音の仕方が分からなかったりして苦手意識をもっている児童も多く、能力差が大きい。</li> <li>• 聞くことに関する活動では、音声として聞き取れているが、それを英単語に表すことに課題が見られる。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵と英単語を同時に掲示し、身近な物と関連させて楽しみながら、覚えられるようにする。そのためにも、教室環境を整え、学習した内容の文法や単語を掲示し、振り返りしやすくする。また、興味をもって英語を発音できるようにするために引き続き、チャンツを歌う時間を設ける。</li> <li>• 苦手意識をもつ児童に対し、教師からの声掛けやアドバイスを徹底する。</li> </ul>  |